

東アジアと同時代日本語文学フォーラム  
 第7回 台北大会  
 2019年10月25日(金)～27日(日)  
 政治大学・東呉大学

10月25日(金)				
開会式 会場 政治大学 百年楼 1階会議庁 (司会:中根隆行)				
次世代フォーラム開会式 挨拶 陳芳明(政治大学台湾文学研究所)				
	次世代フォーラム 1 会場 百年楼330111(司会:呉佩珍)	次世代フォーラム 2 会場 百年楼330306(司会:林雪星)	次世代フォーラム 3 会場 百年楼330109(司会:張桂娥)	次世代フォーラム 4 会場 百年楼330106(司会:阮文雅)
13:00- 13:15				
13:15-15:15	<p>辻 明寿(関西学院大学)金関丈夫『民俗台湾』におけるトランスナショナルな民芸への志向</p> <p>中井 祐希(立命館大学)横光利一と欧州航路</p> <p>山中 悠平(日本大学)分断された場所——三島由紀夫『潮騒』と『絹と明察』</p> <p>楊 佳嘉(名古屋大学)1920-1930年代の日中におけるコロタイズム受容の比較研究——女性知識人という回路を中心に</p>	<p>曹 雅潔(九州大学)「火の記憶」と「湖畔の人」における風景——舞台のかけ橋として——</p> <p>郭 立欣(名古屋大学)芥川龍之介の「江南」体験—『支那遊記』における蘇州の表象を中心に—</p> <p>黄 毓倫(お茶の水女子大学)宮沢賢治「セロ弾きのゴーシュ」における〈身体感覚〉—〈音楽〉の描かれ方に注目して—</p>	<p>稲垣 いつき(日本大学)〈杳子〉の発見—古井由吉の翻訳と創作</p> <p>古井由吉「杳子」とロベルト・ムージル作</p> <p>古井由吉訳「愛の完成」を中心に</p> <p>解放(東京外国語大学)「抑圧」と「自己検閲」の1960年代:引揚げ文学を通して</p> <p>栗山 雄佑(立命館大学)反響する〈悲鳴〉と記憶——目取真俊『眼の奥の森』論</p> <p>唐 楚輝(関西大学)「戦争孤児」から「大地の子」へ—『大地の子』主人公人物像に関する考察—</p>	<p>張 文貞(東呉大学)黄靈芝『ユートピア』に描かれた「理想」</p> <p>董 曉宇(北海道大学)「大陸開拓文学」における「満洲」の表象—湯浅克衛「先駆移民」を中心に—</p> <p>劉 俞伶(東呉大学)「私」のまなざし—呂赫若「隣居」「廟庭」「月夜」から見て—</p> <p>YOUNG DANIEL(九州大学)失踪とアイデンティティーの関わり—寺山修司『田園に死す』と安部公房『砂の女』</p>
15:15-15:30	休憩			
	次世代フォーラム 5 会場 百年楼330106(司会:中川成美)	次世代フォーラム 6 会場 百年楼330109(司会:岡英里奈)	次世代フォーラム 7 会場 百年楼330306(司会:兪在眞)	次世代パネル 会場 百年楼330111
15:30-17:30	<p>劉 怡臻(明治大学)東アジアにおける啄木文学の受容—雑誌『詩精神』に掲載される台湾文学者王白淵の作品から—</p> <p>梁 雅茜(台湾大学)多和田葉子「献灯使」の世界観について</p> <p>頼瑩(名古屋大学)皇民への長い道のり—周金波「志願兵」論</p> <p>李貞和(高麗大学)プレカリアート文学研究—プレカリアート運動と文化活動を中心に—</p>	<p>朴 成柱(名古屋大学)宗秋月作品における女性像—猪飼野の女性を中心に—</p> <p>岡崎 享子(立命館大学)金時鐘が描く光州5・18と済州4・3</p> <p>申宰旻(Korea University)1980年代の雑誌「民濤」研究—在日朝鮮人の民衆文化運動と当時の時代的な状況を中心に—</p> <p>根来由紀(立教大学)『朝鮮詩歌集』(1943年)における朝鮮的題材についての考察</p>	<p>小島 秋良(名古屋大学)中国との「再会」—火野葦平「赤い国の旅人」を中心に</p> <p>南相瑁(Korea University)小松川事件が及ぼした少年死刑に関する文人の認識考察</p>	<p>植民地台湾と越境した文芸思潮</p> <p>吳宗佑(発表)恋愛思潮と台湾新劇——1920年代『臺灣日日新報』文芸欄の新劇脚本を中心に</p> <p>張詩勤(代表・発表)台湾日本語近代詩と大正期日本近代詩の関係——詩話会と『日本詩人』を中心に</p> <p>張政傑(発表)吳坤煌の『フォルモサ』時代——築地小劇場と左連東京支部の間に</p> <p>林佩蓉(発表)植民地時期における戦時体制と文化——楊雲萍と吳新栄の民俗研究と『大東亜民俗学』</p>

10月26日(土)

会場 東呉大学 第一教學研究大樓(R棟)

	個人発表 1 会場 R0312 (司会:金寶賢)	個人発表 2 会場 R0311 (司会:永井真平)	個人発表 3 会場 R0310 (司会:金孝順)	個人発表 4 会場 0302 (司会:尹 芷汐)	個人発表 5 会場 R0305 (司会:川口隆行)
--	-----------------------------	------------------------------	-----------------------------	-----------------------------	------------------------------

9:00-10:00	坂元 さおり(天主教輔仁大學)北方謙三『望郷の道』における〈台湾〉—「ハードボイルド」が繋ぐ「東アジア近代史」と「家族史」—  石川隆男(台湾大学)「海」に見る両義性—在台日本人二世作家新垣宏一の眼差し	中根隆行(愛媛大学)津島佑子の作品群における世界観  杉本章吾(高麗大学)山田双葉(詠美)における女性表象の研究	熊尾 紗耶(広島大学)谷崎潤一郎『細雪』における妙子像の検討——「純潔」規範の受容をめぐる——  大場 健司(国防大学)マイナー文学としての岩井俊二—映画『スワロウテイル』と東アジアの表象	呉 佩珍(政治大学)—一九三〇年代におけるアイルランド文学の越境と台湾新文学の変容  李 郁蕙(広島大学)台湾文学における多言語的エクリチュール	阮 文雅(東呉大学)台湾蕃界へのまなざし—日本人男性作家の移民村描写を通して—  鄭炳浩(高麗大学)朝鮮半島における日本語文学と『京城日報』
------------	---	--	--	--	--

10:00-10:15 休憩

開会式 基調講演 会場 東呉大学 第一教研大樓普仁堂(R0101) (司会:呉 佩珍)

10:15- 12:00	<p>挨拶 王世和(東呉大学学術交流長)</p> <p>基調講演 ロバート・ティアニー(イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校) 南洋の桃太郎—民話、植民地政策、パロディー</p>				
--------------	---	--	--	--	--

12:00- 13:30 昼食

	個人発表 6 会場 R0312 (司会:邱若山)	個人発表 7 会場 R0311 (司会:任ダハム)	パネル 1 会場 R0305	パネル 2 会場 R0302	パネル 3 会場 R0301
--	-----------------------------	------------------------------	-------------------	-------------------	-------------------

13:30-15:30	岡 英里奈(米沢女子短期大学)寒村と移動—水上勉『釈迦内枢唄』『故郷』を読む—  滝口 明祥(大東文化大学)漂流民と物語—井伏鱒二を中心として—  大原祐治(千葉大学)帰還船からの眺め—逆さまに読む大岡昇平『俘虜記』—  尾崎名津子(弘前大学)漂流者のナラティブ——中村地平『長耳国漂流記』を中心に	浮葉 正親(名古屋大学)社会参加としての在日朝鮮人文学～磯貝治良の文学活動を中心に  阪本 博志(宮崎公立大学)出版メディアの「送り手」の戦中と戦後(2)——1950年代の大衆娯楽雑誌『平凡』をめぐる——  金 旭(高麗大学)戦時下<外地>高等教育機関に表れた植民地の風景—雑誌『清涼』と『翔風』を中心に—	世界各地における日本伝統詩歌(短歌・俳句)の創作と変容①  嚴仁卿(高麗大学)韓半島における20世紀の日本伝統詩歌  ウィリー・ヴァンデワラ(ベルギー・ルーヴェン大学)ヨーロッパに於ける俳句の受容 その軌跡と展望  グエン・ヴァー・クイン・ニュー(ベトナム国家大学・日文研) ベトナム季語の探求  黒川悦子(日本国際俳句交流協会) 日本の俳句と世界のHAIKU  司会・鄭炳浩(高麗大学) [東芝国際交流財団・支援]	遠藤周作を複数化する—スター作家という観点から—  西村峰龍(名古屋大学、代表・司会・発表)遠藤周作のオカルト受容—涙を流す聖母像を手掛かりに—  今井瞳良(京都大学・川端康成文学館学芸員、発表)遠藤周作死後の「古い」—遠藤没後の映像作品をめぐる—  斎藤佳子(関西大学、発表)『侍』論—ベラスコと日本の関わりから—	「大東亜」の書物と表象——アジア太平洋戦争期における文化政策・戦場・統制——  日比嘉高(代表者、司会、報告者)戦時下における小売書店——企業整備と統制組合  五味淵典嗣(報告者)帝国の自画像——想像される「大東亜」  中野綾子(報告者)「兵隊という読者」の宣伝——雑誌「兵隊」の記事を中心に  和田敦彦(報告者)対外文化政策の抗争地点——戦前サンパウロの日本語出版物情報誌『文化』から
-------------	---	---	---	--	---

15:30-15:45 休憩

	メインシンポジウム会場 R0312	パネル 4 会場 R0311	パネル 1 会場 R0305	パネル 5 会場 R0302
15:45-17:45	<p>「海から見る東アジアの文学と文化」</p> <p>关立丹(北京語言大学)大城立裕と沖縄現代組踊における歴史叙述</p> <p>大西仁(東海大学)戦時下の日本における海洋文学の提唱とその経緯</p> <p>西成彦(立命館大学)海の文学 ～「うみゆかば」から「大海に生きる夢」まで～</p> <p>南相旭(仁川大学)変容する大地の法と海を渡る人々—『火山島』における「密航者」の目から見た占領地日本</p> <p>ディスカッサント・内田康(淡江大学) 司会・坂元さおり(輔仁大学)</p>	<p>海を渡れない人たちよ、思いを海の向こうへ—戦後日本文学における〈大陸〉像の再構築—</p> <p>魏 晨(代表・司会・発表)引揚文学としての児童文学の可能性—赤木由子が描く「満洲」を手がかりにして—</p> <p>林 麗婷(発表)海を渡れない人—小田嶽夫『望郷』を中心に—</p> <p>藤原 崇雅(発表)引揚親世代の上海ノスタルジー—1980年前後の回顧録における大陸の〈幻像〉—</p> <p>李 文茹(ディスカッサント)</p>	<p>世界各地における日本伝統詩歌(短歌・俳句)の創作と変容②</p> <p>朱衛紅(上海財經大学)俳句の漢訳について—松尾芭蕉を例にして</p> <p>頼衍宏(静宜大学)台湾における皇民化運動:政策の形成と短歌の広がり</p> <p>金寶賢(高麗大学)韓国における俳句の創作現況とローカルカラー</p> <p>指定討論:中根隆行(愛媛大学), 阮文雅(東吳大学)</p> <p>司会・鄭炳浩(高麗大学) [東芝国際交流財団・支援]</p>	<p>軍港都市・呉の記憶:『戦艦大和ノ最期』から『この世界の片隅に』へ</p> <p>현무암(代表・司会・発表)「海軍のまち」をつなぐ近代化遺産のストーリー:象徴として「戦艦大和」物語</p> <p>渡辺浩平(発表)「敗レテ目覚メル」の真偽:戦艦大和と吉田満の戦後</p> <p>장경재(発表)軍港都市の日常、過去から未来へ</p>

10月27日(日)

会場 東呉大学				
	個人発表 8 会場 R0311 (司会:杉本章吾)	個人発表 9 会場 R0301(司会:頼 怡真)	個人発表 10 会場 R0302(司会:尾崎名津子)	個人発表 11 会場 R0310(司会:大場 健司)
9:00-10:00	吉田 恵理(立教大学ほか)日本現代詩と「海」の想像力——辺見庸『眼の海』  范淑文(台湾大学)日本現代文学に語られる海の一例——村上春樹「女のいない男たち」と多和田葉子「献灯使」をテキストとして	永井 真平(名古屋学院大学)折口信夫「月しろの旗」論——敗戦を乗り越えた海の戦争詩  飯田祐子(名古屋大学)女工と修養雑誌	ARUN Shyam(The English and Foreign Languages University)英領インドマラヤーラム語圏における日本紀行文  Dayu Mita(ウダヤナ大学)共鳴するアイヌ文化の精神:ゴールデンカムイとそのインドネシアにおける受容	下岡 友加(広島大学)『台湾愛国婦人』掲載小説・加納抱夢「夢」考  Rouli Esther(インドネシア大学)『ジャワ・バル』雑誌における女性表象
10:00-10:15	休憩			
	個人発表 12 会場 R0311 (司会:金 旭)	パネル 6 会場 R0301	パネル 7 会場 R0302	パネル 8 会場 R0310
10:15-12:15	林 雪星(東呉大学)里村欣三から見る「満洲」—「苦力頭の表情」から「戦乱の満洲」へ  陳 愛華(重慶大学)戦時下の日本の西遊記ブーム再考  尹 芷汐(愛知淑徳大学)中国における日本文学の「内部発行」—軍国主義批判と三島由紀夫  頼 怡真(東呉大学・輔仁大学)日中文学における虚構の動物—魯迅「故郷」と安部公房「バベルの塔の狸」	「越境的」日本文学・文化論の可能性に向けて—『京城日報』の記事を中心に*  司会・任ダハム  金孝順『京城日報』と菊地寛の文学研究—『生活の虹』における女性と植民地の表象を中心に—  姜元珠『京城日報』掲載の新聞小説に於ての朝鮮表象—朝鮮作家を中心に—  李賢珍『京城日報』における口演童話活動の様相  任ダハム 植民地期日本の「外地」における映画文化を考える——『京城日報』の映画関連記事を手掛かりに	憑在論で読み直す「語り」——亡霊的なもの(たち)との邂逅  村上克尚(代表・司会・ディスカッサント)  武内佳代(発表)傷ついた亡霊たち—憑在論で読む大江健三郎「空の怪物アグイー」  高木信(発表)動物の内面を想像する欲望—三島由紀夫「橋づくし」における〈怨霊〉排除  堀井一摩(発表)コロニアル・ゴーストが現れるとき—中西伊之助「不逞鮮人」をめぐって	東アジアにおける探偵小説の翻訳と創作の流通圏  吉田司雄(発表)翻訳長篇探偵小説の原点と挫折—ウィルキー・コリンズ『月長石』をめぐって  俞在真(代表・発表)長編探偵小説のアジア的受容—エミール・ガボリオ『ルルーシュ事件』の翻訳をめぐって—  鄭恵英(発表)植民地朝鮮とシャーロック・ホームズの長編探偵小説—『パスカヴィル家の犬』の朝鮮語翻訳過程をめぐって
	閉会式 会場 R0312(司会:日比嘉高)			
12:15-	閉会式			